

## 事業所向け 放課後等デイサービス自己評価表

事業所名 つばさ園

		チェック項目	改善目標、工夫している点など
環境・体制整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	規定に沿ったスペースとなっておりますが、一日に受け入れ可能な人数、15人が活動するには狭く感じることもあります。2班に分けて活動をしていく、大人数でも楽しく遊べる活動をする、など工夫をして活動をしていきます。
	②	職員の配置数は適切であるか	一人一人、しっかりとその子に向き合えるような体制を心掛けていきます。
	③	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	室内の移動は、スムーズですが、玄関やトイレは、使い方が難しい時があります。子ども達の負担にならないように、指導員が2人～3人で上げ下げしたり、抱き上げたりと安全面に細心の注意をしながら行っています。
業務改善	④	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	デイサービスが終わった後は、必ず、みんなで振り返りをしています。その場にはいない職員は、振り返りにまとめているノートや、日報などを見てチェックしています。チェック体制を今一度確認していきます。
	⑤	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	話し合っています。
	⑥	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	公開しています。

⑦	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	今後体制づくりをしていきます。	
⑧	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	あかり全体の研修が年に1回。園単位の研修では、言語聴覚士の先生の研修や、マカトン講習、筆談研修などを行っています。つばさ園内では、これから、救命救急や、外部の研修などもしていきたいと思います。	
適切な支援の提供	⑨	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	年に1回から2回、相談事業所によるモニタリングに参加をして、保護者の方のお話を伺っています。相談支援計画に沿って個別の支援計画を作っています。
	⑩	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	最低限の物は使用しています。プログラムには、写真や、絵カードを使って、プログラムの進行を分かりやすくしています。トイレ・待つ・座ってなどの簡単なマカトンサインを使っています。
	⑪	活動プログラムの立案をチームで行っているか	園のミーティングで大まかな計画を提示して、指導員にも意見や、アイデアを求めて決めています。
	⑫	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	固定はしていませんが、前回までの記録がきちんとまとまっていた方が、次の課題が見えやすいとの意見がありましたので、個人の記録の取り方を考えていきます。
	⑬	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	いろいろな企画や、課題を考えていますが、一人一人に合わせたきめ細かな支援をこれからも心掛けていきます。
	⑭	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	みんなで取り組む課題あそびと、個別に取り組む個別課題があります。それに沿って支援計画も作成しています。

⑮	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	支援開始前にみんなで集まることが難しいのですが、前日までの日報や、振り返りの時間に出た、課題や問題点などを書いたノートを見るようにしています。
⑯	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	振り返りでは、悪い所だけではなく、良かった所も含めて、みんなで確認をしています。
⑰	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	支援終了後に必ず行っています。その中で出た意見は、日報や毎日ノートに記録して、その日に居ない職員にも周知出来るようにしています。
⑱	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	相談支援事業所で行なうモニタリングに参加しています。内容を確認して計画の見直しを行っています。
⑲	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ合わせて支援を行っているか	行なっています。
⑳	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	児童発達支援管理責任者が参加しています。
㉑	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っているか	学校から、年間行事の予定表をもらっています。一日の様子も先生から丁寧に、引き継ぎをもらっています。
㉒	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか	今現在は、医療的ケアが必要な子はいません。

関係機関や保護者との連携 関係機関や保護者との連携	⑳	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	つばさ園では該当しませんが、つばさ園を新しくご利用されるお子様につきましては、おおとり園と情報の共有を行っています。
	㉑	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	つばさ園では該当しませんが、つばさ園を卒業されるお子様につきましては、はばたき園と情報共有を行っています。
	㉒	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	これから行っていきたいと思います。
	㉓	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	プログラムの公園の時間に公園で遊んでいる地域の子供達との交流がありますが、より多くの子ども達と交流できるように、地域の学校などに働きかけていきます。
	㉔	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか	つばさ園としては参加していませんが、法人として参加をしていますので、法人内で共有をしています。
	㉕	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	つばさ園では、保護者の方のお迎えを基本としております。担当指導員から、一日の様子をお伝えしています。
	㉖	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	保護者の方の申し出や、必要な時には、お話をさせていただきます。
	㉗	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	つばさ園契約時に説明をさせていただいています。その都度対応させていただきます。

保護者への説明責任等

③①	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	保護者の方の悩みに寄り添いながら、必要な時には、丁寧に対応をさせて頂いています。
③②	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	つばさ園では、長期休みに、親子で参加する機会を作っています。お子さまと一緒に楽しむ事ももちろんですが、親御さん同士のつながりの場とも考えております。是非ご活用ください。
③③	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	苦情は、その都度、責任者等が対応をさせて頂いています。また、苦情ノートに内容を記して、どのように対応をしたのかを記録しています。
③④	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	今年度は、毎月「つばさ便り」を作って、保護者の方に配布出来るようにしたい。という目標を持って、5月から毎月発行させて頂いています。
③⑤	個人情報に十分注意しているか	契約時に説明をさせて頂き、個人情報同意書に署名捺印をいただいています。その後は、個人情報に気をつけてお便り等を発行させて頂いています。
③⑥	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	保護者の方には、基本お迎えをお願いしています。その際に、担当の指導員より当日の様子をお伝えし、それについての質問や悩みなどにお答えさせて頂いております。
③⑦	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	つばさ園の中では何度か、地域との交流について話し合っていますが、まだ、具体的な交流の計画には至っていません。これから、そのような機会を作っていきたいと思っています。
③⑧	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	見直しと、順次作成に取り掛かっています。出来上がり次第、皆さんに周知したいと思います。

非常時等の対応	③9	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	一年に一回は、消防署の方に来ていただき、消火、通報、避難訓練、消化器の使い方などを教えていただいています。その他、避難訓練や、不審者対応訓練、交通安全教室などを行なっています。
	④0	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	虐待のチェックシートで、チェックをしながら、虐待について振り返り、確認をしています。
	④1	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	身体拘束については、バギー、車いすにより、付随してついている胸当てベルトや、腰ベルトなどで体を固定しています。いつ、どこで、どのような理由でなどの記録をつけています。
	④2	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	親御さんへの確認や、注意するべき点は確認しています。
	④3	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	ヒヤリハットの記録を残しています。園のミーティング時に振り返りや、対応の問題点、改善点などを話し合っています。